

ColBaseの課題

独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター

デジタル資源担当室長

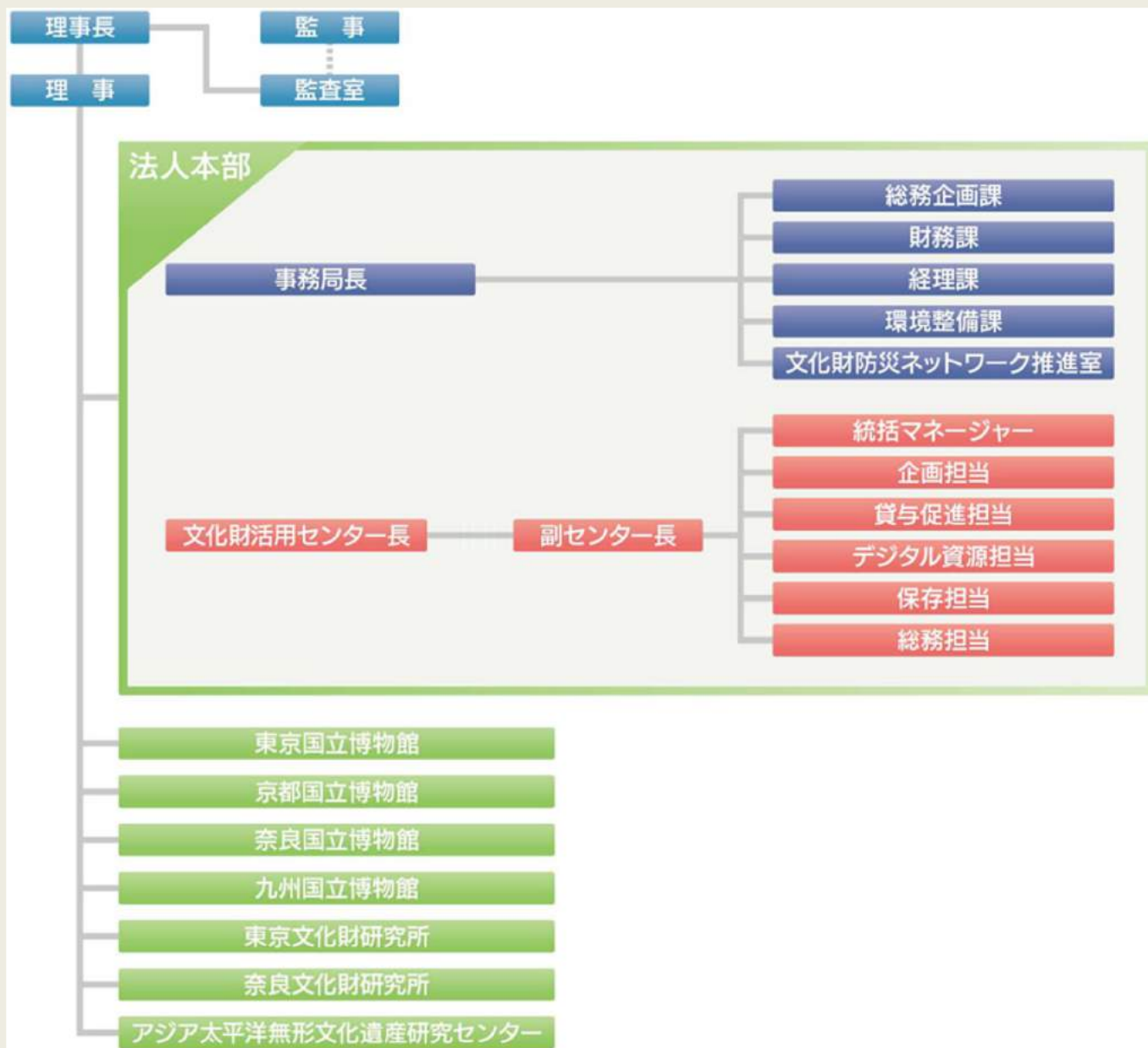
(兼) 東京国立博物館 学芸企画部博物館情報課情報管理室長

村田良二 ryoji@tnm.jp

2018.12.2 じんもんこん 2018

文化財活用センター

2018年7月発足



文化財活用センター

- デジタル資源担当
 - 国立博物館の収蔵品のデジタル・アーカイブ「ColBase」「e国宝」の充実。
 - 国立4館および文化財研究所の所蔵する文化財に関する情報とコンテンツを集約したハブ機能の構築。

フリーワード (作品名・作者など)

検索

画像あり

^

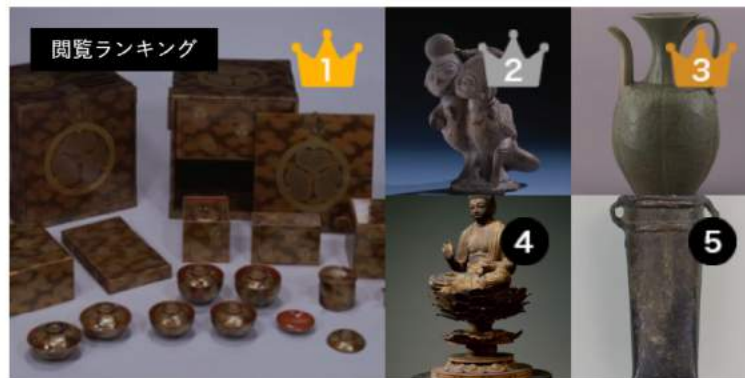
詳細検索

Pick Up



嵯峨人形 犬
江戸
京都国立博物館

閲覧ランキング



ColBaseより



Colbase

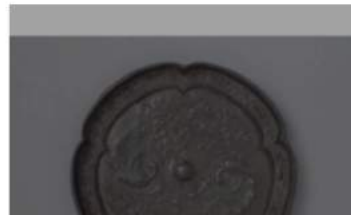
国立文化財機構の4つの国立博物館の所蔵品を検索できるColBaseを公開しました。

2017年03月27日

各機関より



厨子甕



植輪 十刀をもつ男子

ColBase

- 国立博物館所蔵品統合検索システム
 - 2017年3月公開
 - 国立文化財機構の4博物館（東京、京都、奈良、九州）の所蔵品ほぼ全てのデータ
 - 作品約13万件、うち約9,500件に画像あり
 - メタデータ、画像とも政府標準利用規約第2.0版（CC-BY4.0相当）

作品件数

	作品数	画像あり作品数
東京	124,678	5,384
京都	5,932	2,603
奈良	1,889	878
九州※	1,555	679

※ 福岡県立アジア文化交流センター(195件)を含む

作品データ

- 「列品」等に区分されているもの
 - 寄託品（お預かりしているもの）は含まない
 - 図書、古写真、館史資料、備品などは含まない
- 細かさ
 - 枝番レベルのデータの有無は作品による
 - 東博はA-10569（松方コレクション）のみ枝番あり

作品データ

<p>機関 コレクション コレクション内ID 親作品 機関管理番号</p> <p>名称 名称よみ 文化財指定 分類 員数 作者 制作地</p>	<p>4館のいずれか 複数の区分に対応</p> <p>親子関係 列品番号など</p> <p>国宝、重文など 絵画、彫刻・・・</p>	<p>出土地 時代世紀 時代範囲 時代範囲 品質形状 法量 銘文等 寄贈者 所蔵者 解説 リンク 画像</p> <p>開始 終了</p>	<p>「江戸時代・19世紀」</p> <p>寸法</p> <p>所蔵者の表示</p> <p>複数可 複数可</p>
---	--	--	---

作品データの課題

- 整理が必要
 - 用語の不統一
 - 東博「絵画」と京博「絵画（A）」は同じ
 - 陶磁器の「窯」とは？
 - 「伊万里」→ 東博は作者、京博は名称、九博は制作地
 - 「安土桃山時代」と「桃山時代」
 - 意味はあるが利用しやすくする工夫が必要

データの収集・更新の課題

- 現状では手動でCSVをアップロード、手動で更新
- 各館データを自動収集する仕組みの導入を検討中
 - OAI-PMHか？スキーマは？
 - 東博は元になる公開DBがまだない

索引語の課題

- 索引語
 - 作者、出土地、分類などを「名寄せ」する仕組み
 - 作者などの「カテゴリー」ごとに作れる
 - 作品データに索引語を結びつける
 - 索引語は「典拠」のURLを持てる
 - NDL Authorities や Getty ULAN など複数可
- データは手作業で作成中。時間がかかる
 - 現在約3,600語（ほとんど作者）
 - 表記ルール等も模索中

多言語化の課題

- 英語 約28,000件
- 中国語、韓国語は準備中
 - 各7,000～8,000件を予定
- これまでに翻訳されたデータを利用
 - 展示のキャプションのために作ったデータを効率的に吸い上げる仕組みづくり

画像の課題

- 枚数
 - 画像があるのは作品全体の7.3% (9,5000 / 130,000)
 - 既存画像を鋭意登録中
 - 画像のない作品が圧倒的多数
- サイズ
 - 現状では長辺1,000ピクセル
 - 有償提供との兼ね合い

使い勝手と位置づけの課題

- 使いやすさの課題
 - 検索フォームをわかりやすく（選択肢の提示など）
 - ランキングは本当に必要？
 - 見やすいデザインにしたい
- 「e国宝」との関係
 - 両方メンテナンスを続けるのか？

データの利用

- CC-BY 相当
 - 「政府標準利用規約第2.0版」 CC-BY4.0互換
- データの2次利用
 - 科研でRDF化、SPARQL Endpoint を検証中
- データ連携
 - NDLサーチ
 - 文化遺産オンライン
 - Japan Search

ColBase の今後

- 多くの課題があり、発展途上
 - 技術的な課題
 - コンテンツに関わる課題
 - 各館データベースとの関係の整理
 - 役割・位置づけの明確化
- 長期的な視点で方向性を探りたい